

作物統計調査

令和7年産飼料作物の作付（栽培）面積及び収穫量、えん麦（緑肥用）の作付面積

令和7年産牧草及び青刈りとうもろこしの収穫量は前年産に比べそれぞれ4%減少、3%減少し、ソルゴの収穫量は1%増加

【調査結果の概要】

1 飼料作物計

作付（栽培）面積は90万5,200haで、前年産に比べ7万400ha（7%）減少した。

これは、飼料用米、WCS用稲等の作付けが減少したためである。

2 牧草

作付（栽培）面積は68万6,700haで、前年産に比べ8,800ha（1%）減少した。収穫量は2,312万4,000tで、前年産に比べ102万4,000t（4%）減少した。

3 青刈りとうもろこし

作付面積は9万5,100haで、前年産に比べ1,400ha（1%）減少した。収穫量は483万5,000tで、前年産に比べ13万7,000t（3%）減少した。

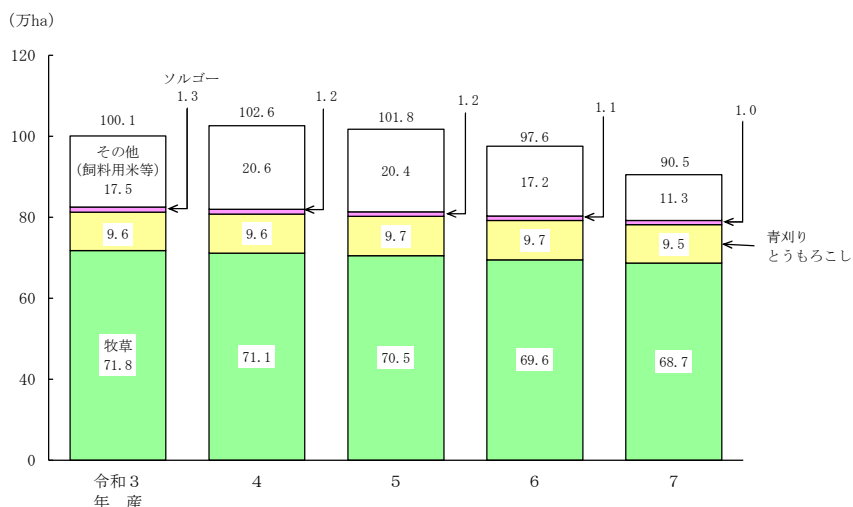
4 ソルゴ

作付面積は1万400haで、前年産に比べ800ha（7%）減少した。これは、作付中止や他作物への転換があったためである。収穫量は43万9,700tで、前年産に比べ6,400t（1%）増加した。

5 えん麦（緑肥用）

作付面積は2万9,300haで、前年産に比べ600ha（2%）減少した。

図1 令和7年産飼料作物の作付（栽培）面積の推移



注：統計数値については、表示単位未満を四捨五入しているため、合計値と内訳の計が一致しない場合がある。

- 「飼料作物計」とは、牧草、青刈りとうもろこし、ソルゴのほか、その他飼料作物（飼料用米等）を含めた合計である。なお、本調査の収穫量調査は、牧草、青刈りとうもろこし及びソルゴを対象に調査を実施している。
- 飼料用米及びWCS用稲の作付面積は、『新規需要米の都道府県別の取組計画認定状況』（農林水産省農産局）の値を用いている。

◎累年データ

1 飼料作物の作付（栽培）面積、10a 当たり収量及び収穫量の推移（全国）

区 分	飼料作物計									
	牧 草				青刈りとうもろこし			ソ ル ゴ ー		
	作付(栽培)面積	作付(栽培)面積	10a 当たり収量	収 穫 量	作付面積	10a 当たり収量	収 穫 量	作付面積	10a 当たり収量	収 穫 量
	ha	ha	kg	t	ha	kg	t	ha	kg	t
平成28年産	988,400	735,200	3,360	24,689,000	93,400	4,560	4,255,000	14,800	4,430	655,300
29	985,100	728,300	3,500	25,497,000	94,800	5,040	4,782,000	14,400	4,620	665,000
30	970,300	726,000	3,390	24,621,000	94,600	4,740	4,488,000	14,000	4,410	618,000
令和元	961,600	724,400	3,430	24,850,000	94,700	5,110	4,841,000	13,300	4,350	578,100
2	955,700	719,200	3,370	24,244,000	95,200	4,960	4,718,000	13,000	4,140	537,600
3	1,001,000	717,600	3,340	23,979,000	95,500	5,140	4,904,000	12,500	4,110	514,300
4	1,026,000	711,400	3,520	25,063,000	96,300	5,070	4,880,000	12,000	4,170	500,700
5	1,018,000	705,200	3,400	23,972,000	97,200	5,080	4,940,000	11,700	4,250	497,200
6	975,600	695,500	3,470	24,148,000	96,500	5,150	4,972,000	11,200	3,870	433,300
7（概数）	905,200	686,700	3,370	23,124,000	95,100	5,080	4,835,000	10,400	4,230	439,700

資料：農林水産省統計部「耕地及び作付面積統計」及び「作物統計」（以下2の統計表まで同じ。）

2 えん麦（緑肥用）の作付面積の推移（全国）

単位：ha

区 分	えん麦（緑肥用）		
	計	田	畑
平成29年産	43,700	8,800	34,900
30	44,700	8,460	36,200
令和元	41,600	5,070	36,500
2	41,100	4,850	36,200
3	45,100	4,690	40,400
4	44,000	4,200	39,800
5	36,000	3,570	32,400
6	29,900	2,880	27,100
7（概数）	29,300	2,700	26,600

注：えん麦（緑肥用）は平成29年産から調査を行っている。

【調査結果】

1 飼料作物計

作付（栽培）面積は90万5,200haで、前年産に比べ7万400ha（7%）減少した。

これは、飼料用米、WCS用稲等の作付けが減少したためである。

2 牧草

(1) 作付（栽培）面積

作付（栽培）面積は68万6,700haで、前年産に比べ8,800ha（1%）減少した。

(2) 10aあたり収量

10aあたり収量は3,370kgで、前年産を100kg（3%）下回った。
なお、10aあたり平均収量対比は99%となった。

(3) 収穫量

収穫量は2,312万4,000tで、前年産に比べ102万4,000t（4%）減少した。
なお、都道府県別の収穫量割合は、北海道が全国の約7割を占めている。

図2 牧草の作付（栽培）面積及び収穫量の推移（全国）

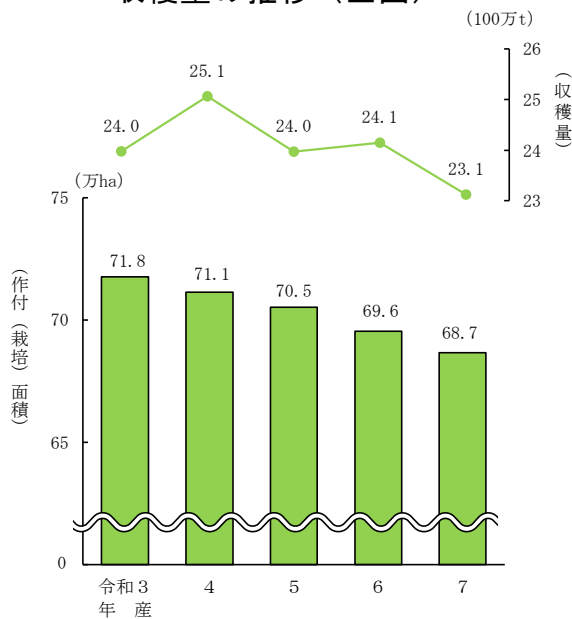
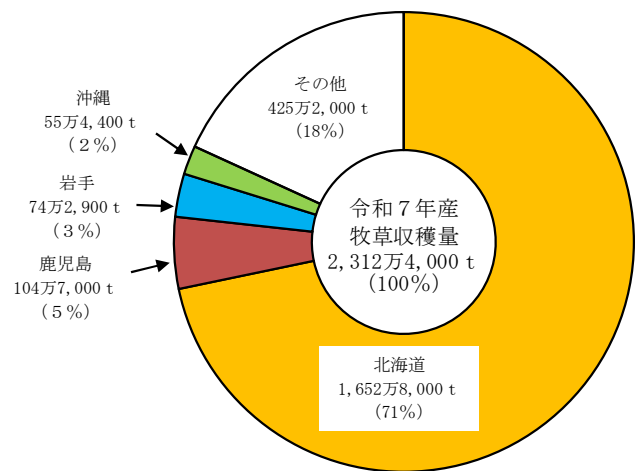


図3 令和7年産牧草の都道府県別収穫量及び割合



注：統計数値及び割合については、表示単位未満を四捨五入しているため、合計値と内訳の計が一致しない場合がある（以下、図5、7において同じ。）。

表1 令和7年産牧草の作付（栽培）面積、10aあたり収量及び収穫量（全国）

区分	作付（栽培）面積	10aあたり収量	収穫量	前年産との比較						（参考）	
				作付（栽培）面積		10aあたり収量		収穫量		10aあたり平均収量対	10aあたり平均収量
				対差	対比	対差	対比	対差	対比		
牧草	ha 686,700	kg 3,370	t 23,124,000	ha △ 8,800	% 99	kg △ 100	% 97	t △ 1,024,000	% 96	% 99	kg 3,410

注：10aあたり平均収量は、前年産を起点とした過去7か年のうち、最高及び最低を除いた5か年の平均値である（以下、表2、3において同じ。）。

3 青刈りとうもろこし

(1) 作付面積

作付面積は9万5,100haで、前年産に比べ1,400ha（1%）減少した。

(2) 10aあたり収量

10aあたり収量は5,080kgで、前年産を70kg（1%）下回った。
 なお、10aあたり平均収量対比は100%となった。

(3) 収穫量

収穫量は483万5,000tで、前年産に比べ13万7,000t（3%）減少した。
 なお、都道府県別の収穫量割合は、北海道が全国の約7割を占めている。

図4 青刈りとうもろこしの作付面積及び収穫量の推移（全国）

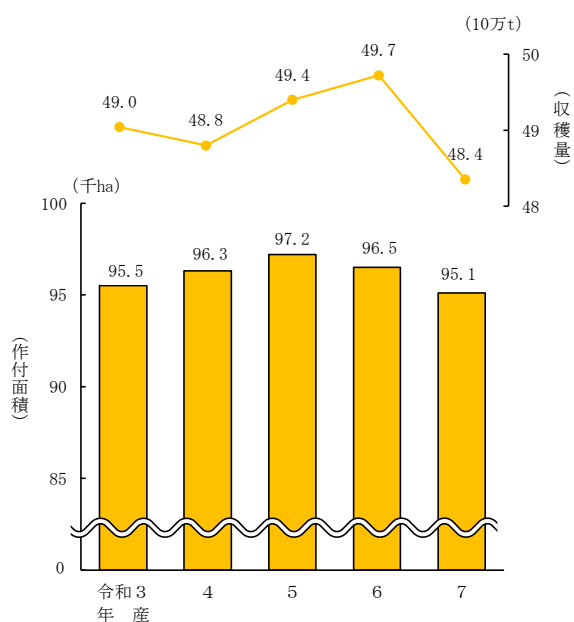


図5 令和7年産青刈りとうもろこしの都道府県別収穫量及び割合

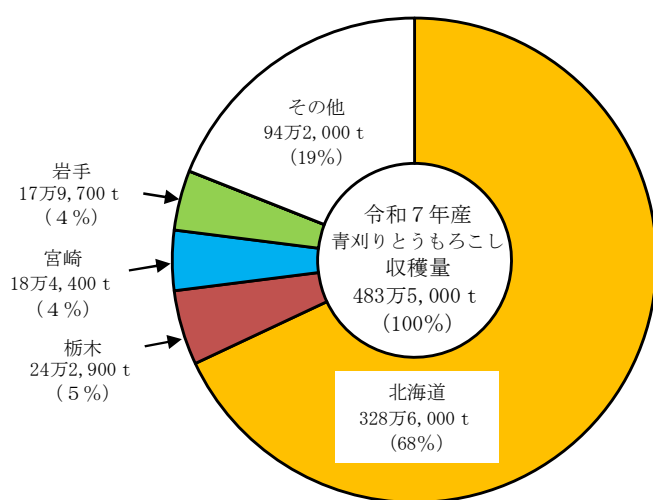


表2 令和7年産青刈りとうもろこしの作付面積、10aあたり収量及び収穫量（全国）

区分	作付面積	10aあたり収量	収穫量	前年産との比較						（参考）	
				作付面積		10aあたり収量		収穫量		10aあたり平均収量対	10aあたり平均収量対
				対差	対比	対差	対比	対差	対比		
				ha	%	kg	%	t	%	%	kg
青刈りとうもろこし	95,100	5,080	4,835,000	△ 1,400	99	△ 70	99	△ 137,000	97	100	5,070

4 ソルゴー

(1) 作付面積

作付面積は1万400haで、前年産に比べ800ha（7%）減少した。
これは、作付中止や他作物への転換があったためである。

(2) 10aあたり収量

10aあたり収量は4,230kgで、前年産を360kg（9%）上回った。
これは、主に九州において、おおむね天候に恵まれ、作柄が悪かった前年産を上回ったためである。
なお、10aあたり平均収量対比は101%となった。

(3) 収穫量

収穫量は43万9,700tで、前年産に比べ6,400t（1%）増加した。
なお、都道府県別の収穫量割合は、宮崎県が25%、鹿児島県及び長崎県がそれぞれ14%、大分県が8%、熊本県が6%となっており、この5県で全国の約7割を占めている。

図6 ソルゴーの作付面積及び収穫量の推移（全国）

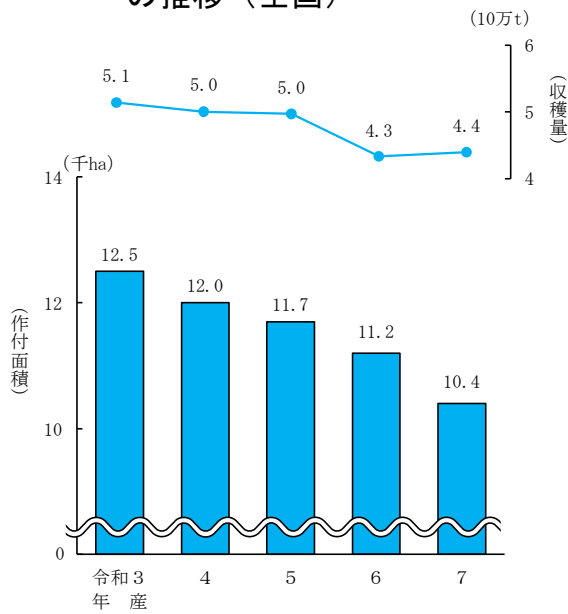


図7 令和7年産ソルゴーの都道府県別収穫量及び割合

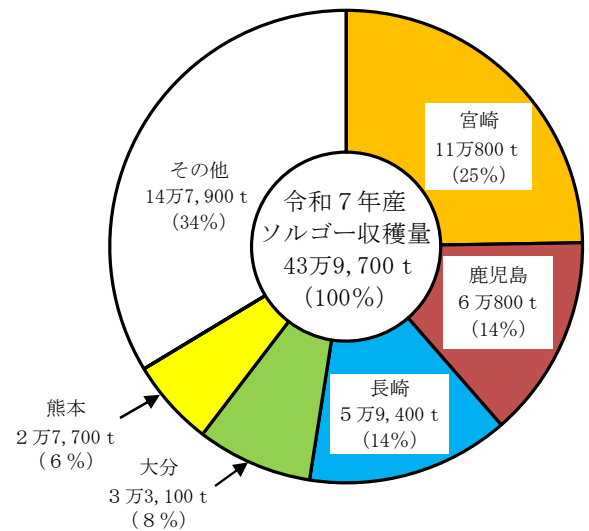


表3 令和7年産ソルゴーの作付面積、10aあたり収量及び収穫量（全国）

区分	作付面積	10aあたり収量	収穫量	前年産との比較						（参考）	
				作付面積		10aあたり収量		収穫量		10aあたり平均収量対	10aあたり平均収量比
				対差	対比	対差	対比	対差	対比		
ha	kg	t	ha	%	kg	%	t	%	%	kg	
ソルゴー	10,400	4,230	439,700	△ 800	93	360	109	6,400	101	101	4,200

5 えん麦（緑肥用）

作付面積は2万9,300haで、前年産に比べ600ha（2%）減少した。
このうち、主産地である北海道の作付面積は2万7,500haで、前年産に比べ500ha（2%）減少した。

【 統計表 】

<https://www.e-stat.go.jp/stat-search/files/data?sinfid=000040413184&ext=xls>

【 調査の概要 】

- ・ 面積調査

<https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/menseki/gaiyou/>

- ・ 作況調査（水陸稲、麦類、大豆、そば、かんしょ、飼料作物、工芸農作物）

https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kome/gaiyou/

【 調査結果の主な利活用 】

- ・ 食料・農業・農村基本計画における品目ごとの生産量や作付面積等の KPI の設定及び検証のための資料
- ・ 飼料作物に関する生産振興に資する各種事業（強い農業づくり総合支援交付金等）の推進のための資料
- ・ 飼料需給安定法（昭和27年法律第356号）に基づく飼料需給計画の策定（国内の飼料の供給量の把握）のための資料

【 ホームページ掲載案内 】

- ・ 本資料は、農林水産省ホームページの統計情報に掲載している分野別分類「作付面積・生産量、家畜の頭数など」、品目別分類「工芸農作物（さとうきび・茶など）」の「作況調査（水陸稲、麦類、大豆、そば、かんしょ、飼料作物、工芸農作物）」で御覧いただけます。

https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kome/#y12

- ・ 本資料の数値は概数値であり、確定した詳細な数値はホームページに掲載（令和8年8月予定）します。
- ・ 公表した数値の正誤情報は、ホームページでお知らせします。

【 関連リンク 】

農林水産政策関係ページ：農林水産省＞組織別から探す＞大臣官房

<https://www.maff.go.jp/j/kanbo/>

農業生産振興関係ページ：農林水産省＞組織別から探す＞畜産局＞飼料

https://www.maff.go.jp/j/chikusan/sinko/lin/l_siryu/

お問合せ先

◎本統計調査結果について
農林水産省 大臣官房統計部
生産流通消費統計課 普通作物統計班
電話：（代表）03-3502-8111 内線 3680
（直通）03-6744-2044

◎農林水産統計全般について
農林水産省 大臣官房統計部
統計企画管理官 統計広報推進班
電話：（代表）03-3502-8111 内線 3589
（直通）03-6744-2037



政府統計

政府統計の総合窓口
(e-Stat)

<https://www.e-stat.go.jp/>



SAFF

データの力で。
農林水産統計
Statistics of Agriculture,
Forestry and Fisheries